事例No.	2164
公表年度	R4
団体の属性	都道府県
団体名	神奈川県

事例区分	DX

タグ	・福祉・介護 ・ICT

事例種類	孤独・孤立対策

事例内容・タイトル

神奈川県・いのちのほっとライン@かながわ事業

出典

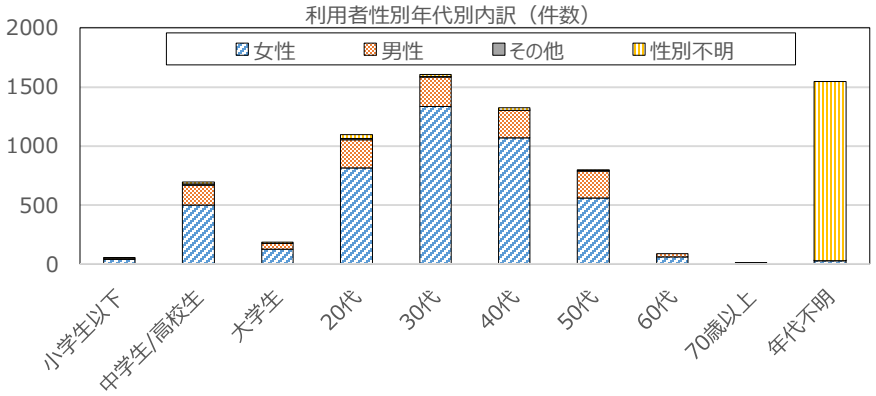
地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

184 神奈川県・いのちのほっとライン＠かながわ事業【神奈川県】

事業の概要

○　神奈川県は、こころの健康に関する悩みを専門の相談員にLINEで相談できる窓口「いのちのほっとライン@かながわ」を令和2年4月から提供している。県内在住・通勤・通学者を対象に、予約不要・匿名可能・無料で相談を受け付けている。

○　相談者の年代は30代を中心に幅広く分布しており、別途実施している電話相談事業と比較して、未成年及び20代の割合が高くなっている。



【参考情報】 人口：922.0万人
関連URL：
https://www.pref.kanagawa.jp/docs/nf5/cnt/linesoudan.html
（ランディングページ）

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



（神奈川県）
県PRキャラクター
かながわキンタロウ

当県の自殺者数は近年減少傾向にあるものの、若年層の減少幅は比較的小さい傾向にあります。 当県では、これまで「こころの電話相談」等、こころの健康に関する相談体制の整備に努めてきましたが、既存の体制では若年層の相談ニーズに対応しきれていないと考え、また、10歳代のSNS利用割合が高いことも加味し、令和2年度から当事業を開始しました。



導入又は実証時において、国の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



令和2年度は厚生労働省の地域自殺対策強化交付金を、令和3年度は厚生労働省の新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金を活用しました。



事業の近況を教えてください。

令和3年度は4回線に対応できる仕様で、友だち登録数は15,357人、応答率が約80%となりました。また、相談後のアンケートの「また相談したいと思いますか？」という質問では、有効回答1,079件のうち、「したいと思う」と「機会があればしたい」の合計が95.9%となりました。



今後も、相談窓口を必要としている方に情報が届くよう、広報を進めてまいります。

★担当：神奈川県健康医療局保健医療部 がん・疾病対策課★

令和3年度事業費　40,042千円
（うち、令和3年度（令和2年度からの繰越分）新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金（厚生労働省）　30,031千円）